

一般 質問

令和8年 6月定例会

町の資源を活かせ

安部 丘 議員



防災ガイドブックは新情報にも対応しており、改版の必要はない。
警報・注意報にはレベルが付記され、住民が取るべき行動が明確になった。
レベル3以上で告知放送を行い、庁舎や支所を避難所

A 現行の運用で対処

町長塚原隆昭

また、翌日までの警報見通しを示す「時系列情報」や、線状降水帯の2〜3時間前の「直前予測」なども始まった。
本町では運用修正、防災ガイドブック改版、町民周知をどのように進めるのか。

防災気象情報が刷新され、警戒レベルの表示方法や土砂災害警報の発表基準が変わった。特に土砂災害のレベル3は、レベル4に移行する可能性が高い場合に限られ、避難判断のタイミングが早まる可能性がある。

Q 新防災情報への対応を

として開設、レベル4で避難指示を発令し、地域の避難所を開設する。
周知は町広報、ホームページ、防災訓練、出前講座を継続する。

Q 校外活動と安全確保の両立を

磐越道での部活動遠征中のバス事故を受け、国・県が学校の安全確保に関する通知を出した。本町の小中学校は、校外学習や部活動でバスを利用する機会が多く、通知が活動や支援体制に与える影響を問う。

活動を抑制することなく安全を確保するために、運転手との定期面談や軽微な事故でも教育委員会へ報告する仕組みを整えるべきだと考えるが、教育長の見解を求める。

A 連絡と面談を密に

教育長 大谷 哲也

小学校で年間約80回、中



部活動で使う教育委員会のバス

Q 町資源を活かす戦略を

政府は地域経済の活性化

学校で約40回の校外活動があり、中学校部活動では約200回のバス移動がある。通知は貸切バスの適切契約と緊急対応マニュアル点検が中心で、本町には影響はない。
今後は、校長会で通知内容を共有し、安全確保を徹底した上で移動手段を確保する。
運行委託事業者とは連絡を密にし、個人運転者には健康診断書提出と面談を徹底する。

A 方向性探る

町長塚原隆昭

地域未来戦略は方針段階で、詳細は未定。本町が参画するには、中核企業や広域連携などの要件からハードルが高い。

一方で、神話や漫画などのコンテンツを活かした広域連携の可能性があり、出雲圏域や斐伊川サミットなど既存の枠組みで研究し方向性を探る。

コンサル依存からの脱却を

安部 誠也 議員



Q 高野町へのトンネルは

平成11年に瑞穂・高野インターアクセス、新銀山街道整備促進期成同盟会が結成され活動は続いているが、可能性は。
町は、一昨年10月に庄原市との自治体間交流に関する連携協定を結んでいるが、役場職員だけでなく、町民挙げての交流をすべきでは。

トンネルのルートとして高暮側（高野町）は県道であるが、わが町側の町道小田線を県道に昇格できないか。



町道小田線

A 要望活動や情報交換で

町長塚原隆昭

県への要望活動のほか、令和2年度から広島県と事業の効果や実現に向けた課題等について情報交換している。連携協定をきっかけに、民間レベルでの取り組みが、さらに広がるよう交流の促進に努めている。県道昇格はハードルが非常に高い。



県道下門田泉吉田線（高野町）

Q コンサル依存体質を変えよ

地方自治体の議会において、執行部（首長や役場職員）が政策立案を外部のコンサルタント（コンサル）会社に残し過ぎる問題は、専門知識を補うメリットがある反面、自治体の主体性や職員の政策形成能力の低下を招くとして、批判や議論の対象となっている。

一例として、令和5年度に県内のコンサルに委託してまとめた「観光宿泊交流施設今後のあり方検討」は町民から猛反発があり、その後、所信表明では白紙撤回された。総合振興計画にも「住民主体のまちづくりの推進」「協働のまちづくりの推進」を掲げているが、コンサルに委託して丸投げすることなく、自治体独自の地域特性や「住民の生の声」を反映すべきだ。

A 知識や技術が必要

町長塚原隆昭

計画等で建設候補地の抽出や建設費用の試算など現施設の維持管理経費との比較分析などの作業が必要で、専門的知識や技術が必要だ。技術職員がいない本町は、職員だけでは困難な部分には外部の専門業者の協力を得て策定を進めている。

委託により他自治体などの情報が得られ、専門業者のノウハウも活かし、迅速に作業が進められる。

職員の人材育成という観点からは、企画力を育成したい。計画の目的や内容によっては、外部の専門業者の協力が必要な場合もあり、状況に応じて、よりよい手法で判断したい。

本町の独自性を活かした政策、幅広い町民の声を反映した内容となるよう努める。

のため産業集積計画の素案を公表し、「地域未来戦略」に反映する。国主導の戦略産業、県主導の地域産業、市町村主体の地場産業の3本柱で進む。

中国地方の戦略産業にはコンテンツ産業が含まれ、日本一の大しめ縄や日本画、漫画、絵本作家のゆかりの地として本町も関わられる可能性がある。出雲市など近隣市町と連携し、投資を呼び込めたいか。